

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立ゆずりはら青少年自然の里	所管課	社会教育課
所在地	上野原市柵原13880	設置年月日 (改築年月日等)	平成10年7月14日
管理方式	指定管理者(上野原市、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青少年自然の里設置及び管理条例		
設置目的	①自然の中で、集団生活を通じて自律、協同などを体験的に学習する場を提供すること。 ②主催事業の実施を通じ、自然の中でふるさとを愛するたくましい青少年を育成する機会を提供すること。		
主な施設内容 (定員等)	宿泊棟:一般棟(26人)×3、家族棟(4人)×4、身障者棟(2人)×1、(4人)×1 食堂(96人)、ラウンジ(20人)、多目的ホール(150人) キャンプ場:テント(10人)×10、炊事場、トイレ		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用の承認に関する業務</li> <li>○ 施設及び設備器具の維持保全に関する業務</li> <li>○ 集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務</li> <li>○ 地域における生活文化の経験学習に関する業務</li> <li>○ 野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務</li> <li>○ 野外活動及びレクリエーションに関する業務</li> <li>○ その他教育委員会が必要と認める業務</li> </ul>		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	(1) 上野原市立地域交流館 (2) 山梨県立なかとみ青少年自然の里:H23利用人数 8,380人
-------------------	------------------------------------------------------

3. 利用状況

単位:人、%

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (目標値)
利用者数	宿泊棟利用	5,982	7,387	7,197	
	キャンプ場宿泊利用	738	884	872	
	日帰り利用	1,971	1,637	1,362	
	利用者数合計	8,691	9,908	9,431	
	目標値	12,000	12,000	10,000	10,000
	目標値設定の考え方	利用者が最多となった平成17年度実績を10%上回る数値	同左	少子化による各団体の構成員の減少と東日本大震災の影響による4月以降のキャンセルを勘案して調整	震災等の影響もあり、利用者が減少してしまったので、微増していた震災前の利用者数とした。
	対21年度比	100.0%	114.0%	108.5%	0.0%
	稼働率	51.0%	56.0%	60.0%	

## 4. 収支状況

単位:円、%

		平成22年度	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (計画値)
収入	施設利用料				
	指定管理者委託料	25,756,000	34,104,000	34,104,000	34,360,000
	その他	0	0	0	0
	収入合計(A)	25,756,000	34,104,000	34,104,000	34,360,000
支出	人件費	8,655,244	17,516,000	17,516,000	18,237,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	16,508,475	16,588,000	16,588,000	16,123,000
	(うち外部委託費)(B)	5,447,663	6,445,000	6,445,000	6,616,654
	支出合計(C)	25,163,719	34,104,000	34,104,000	34,360,000
収支差額(A-C)		592,281	0	0	0
外部委託比率(B÷C)		21.6%	18.9%	18.9%	19.3%
利用者一人当りの経費		2,600	3,410	3,616	3,436

## 5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成23年4月～24年3月、実施方法:県立ゆずりはら青少年自然の里利用団体へのアンケート、回答数:54団体
-------	------------------------------------------------------------

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①利用料金	92.6%	0.0%	3.7%	3.7%
②申し込み方法	88.9%	0.0%	7.4%	3.7%
③設備・備品の状況	92.6%	3.8%	1.8%	1.8%
④活動内容	77.8%	11.1%	0.0%	11.1%
⑤施設利用全般の満足度	90.7%	9.3%	0.0%	0.0%
⑥食堂の食事について	57.4%	31.5%	5.6%	5.5%
各項目の平均	83.3%	9.3%	3.1%	4.3%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設がきれいで使いやすい。</li> <li>・バスが本館まで乗り入れできればよい。県道から駐車場までの案内看板があるとよい。</li> <li>・中学生向きの活動プログラムを増やして欲しい。</li> <li>・食事の味付けが大人向けのものがあつた。(辛い)</li> </ul>
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備は充実しているが、県道からの道が狭いために車のすれ違いができない箇所があり不便であるので、注意看板も増やしたい。</li> <li>・プログラムの開発を今後も続けたい。</li> <li>・食事については、委託業者と料金、メニュー等話し合いを続けていく。</li> </ul>

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	利用者に気持ちよく利用していただくように、日常清掃の他、業者によるワックスがけ、高窓拭きなど、常に快適な環境づくりに努めている。	維持管理については、とてもきれいに管理されている。また、職員たちでよく工夫して補修等行っている。
運営業務	利用団体のニーズ多様化の中、入退所時間を柔軟に対応したり休日に運営するなど団体の利便性に配慮してきた。また、プログラムの開発を今後も続けていく。	利用が多くなる夏期に、休業日を変更し営業することで利用者の利便向上を図った。 ホームページによる施設の紹介や、学校訪問等の広報活動を積極的に展開していた。
自主事業		
利用状況	利用料金が安いことや都内に近い距離にあるためリピーターが多い。今後も新規利用者、県外(あきる野市・青梅市等)方面の開拓に努めていく。	利用状況としては、リピーターが多く利用している。立地上、隣接県域にさらにPRして新規の利用者が増えると安定した利用が見込める。
収支状況	築14年になるため、老朽化見えてきたので修繕費が増加してきているが、職員できる修繕は対応し経費節減に努めている。	施設・設備の経年劣化もあり修繕に要する経費が増加するなかで、経費節減に努めていることは評価できる。
利用者満足度	利用者の意見を参考にしながら改善し、一人でも多くの利用者に満足していただけるように、常に利用者の気持を考えて笑顔で対応していく。	利用者アンケートからは、施設面、スタッフの対応等満足したという高評価が多く、施設の努力がうかがえる。今後も、質の高いサービスで利用者の期待に応えて欲しい。
運営目標の達成状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>○H23 利用者数目標値 10,000 実績 9,431</li> <li>○H23 主催事業参加者数目標値 1,200 実績 1,192</li> <li>○震災の影響で、4月に約400人がキャンセルとなってしまい、利用者が全体としても減少してしまった。</li> <li>○主催事業については、参加料金の値下げをおこないほぼ目標値の参加者となった。</li> </ul>
施設所管課による総合的な評価及び指導事項		<p>現地確認をしたところ、施設内外ともとてもきれいに管理されていた。</p> <p>23年度は震災の影響で多数のキャンセルが発生し、前年より利用者が減少してしまった。</p> <p>立地上、県外からの利用が多いので、新規利用者の確保のため、隣接県域でのPRがさらに必要である。利用者の安全面については、川が近くにあり、川遊び等も行ふことが多いためボランティア等を活用し、十分に安全に配慮するよう指導した。</p>
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況		利用者については、今後も県外(八王子市・相模原市等)方面にPRし開拓に努めていく。また、安全面については、指導されたことを全職員に周知徹底し利用者に怪我のないように楽しんでもらえるように努力する。

7. 管理体制(組織図)

